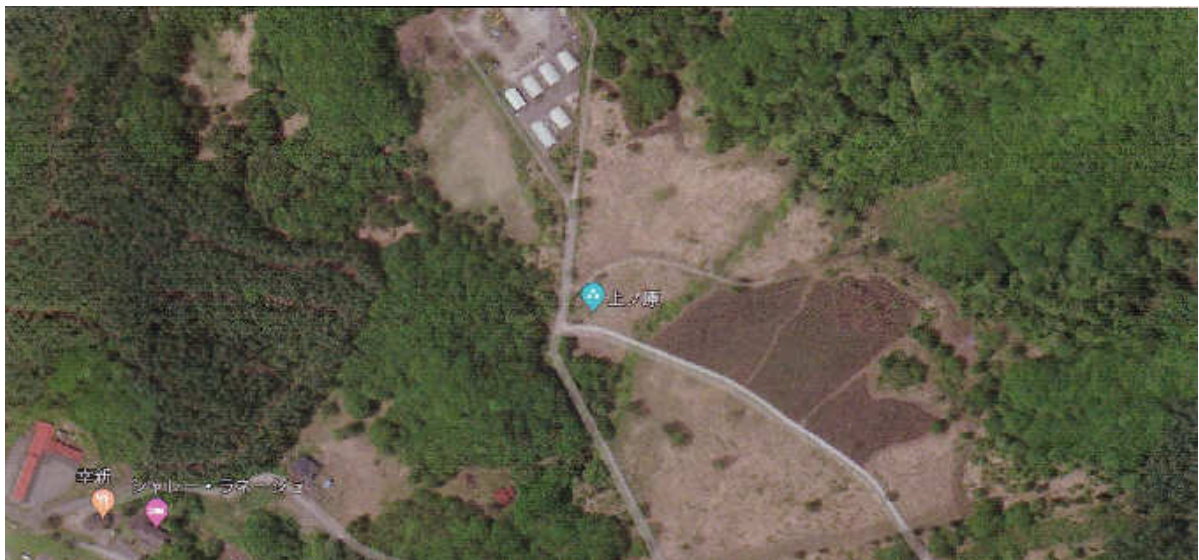


森林塾青水

第18回 定期総会

1. 日時 2019年4月6日(土曜日)
13時00分 ~ 14時15分
2. 場所 環境パートナーシップ セミナースペース
3. 議題
第1号議案 2018年度事業報告及び会計収支
第2号議案 2019年度事業計画及び会計収支予算案
第3号議案 2019年度役員選任



2019年4月6日
森林塾青水

第1号議案 2018年度事業報告 および 会計収支

1. 2018年度事業報告

はじめに：上ノ原15周年にあたって

森林塾青水は2000年9月に発足していますが、藤原上ノ原の町有林を借り受け、ここで本格的な活動を開始したのは2003年4月から。それから15年、まさに継続は力なりで、地元住民、都市住民、行政がそれぞれ協力のもと、活動を絶やることなく着実に成果を上げて参りました。

上ノ原はみなかみ町昆虫等保護条例対象として指定されていますが、近年でも環境省「生物多様性保全のため重要な里地里山」選定(2015年)、文化庁「ふるさと文化財の森」への設定(2019年)など、また、付近一帯のユネスコのエコパークへの指定、など上ノ原への注目も高まっております。

このように、関係各位のご努力、ご支援のもと、順調な発展をして今日に至っておりますが、一方で地元担い手および会員の高齢化という、構造的な問題を抱えています。

背景には、山村部の過疎化と同時に、都市部でも定年延長、壮年層の多忙化など、社会全体の時間的、金銭的余裕の減少という事象があるので、今までの延長線では今後の活動が展望しにくい時期が来ているのも現実です。

幹事会では昨年来、首都圏住民主体での環境保全活動という現在の活動には限界が来ているとの認識の下、現地主導を主軸にして、首都圏会員は首都圏部会(仮称)としてこれを側面から支えていくという形にもっていく方向で、組織、運営方法の改正を検討しております。

担い手不足の問題は、もちろん現地でも大きな問題ではありますが、現地藤原では、北山塾頭の兼務するNPO法人奥利根水源地域ネットワークはじめとする諸団体を中心に、若手の移住促進、教育旅行の受け入れなど、地域活性化の動きが一步一步進んで来ております。これら諸団体との協働(ないし合流)、エコパークなど現地ニーズに歩調を合わせた活動が期待できると思われまます。

目標年度は、2020年度、遅くとも2021年度からと考えておりますが、以降も首都圏部会(仮称)も森林塾青水の一組織として、従前にもまして青水活動の原点である藤原、上ノ原の茅場保全等の環境保全活動等の支援を継続します

各月の活動記録

2018年

- 4月
- ・ 総会、会員数60名、参加24、委任状18、みなかみ町小林リーダーほか数人がオブザーバー参加。終了後セミナー「目からウロコの勘違い自然界のあるある」講師は、高野史郎顧問。
 - ・ 国土審議会で取りまとめ中の「人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために」の国土計画事例集の中で「都市住民と地域住民等が共同で茅場と森林を回復・維持・活用」として取り上げられる。
 - ・ 定例プログラム「春の風物詩・上ノ原茅草原の野焼」実施。43名参加、ほかにも行政機関、地元、消防団など多数のご参加、ご協力あり。雪が全くない状態のため、一部メンバーは前日からはいるなど、防火帯づくりに注力したかいもあり、2.1haを安全にかつ完全に燃焼。
- 5月
- ・ 4月末から5月にかけてモニ1000の継続について自然保護協会(NACS-J)と協議開始。NACS-J が平成30～32年にかけて「利根川水源、みなかみユネスコエコパークにおける市民や学校と協働した里地の生物多様性把握とモニタリングシステムの構築」を実施するにあたり、協力していくこととする。
 - ・ 全国草原シンポジウム開催。遠方(宮崎県串間市)につき、塾としては参加できず、笹岡顧問が個人として参加。
 - ・ 国土審議会「人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために」の国土計画事例集の中で「都市住民と地域住民等が共同で茅場と森林を回復・維持・活用」として取り上げられることになる。(予定稿としてH/Pに公開された。)
 - ・ 千葉県柏市の麗澤中学校樹木観察会実施。青水会員を中心に関係者15名がインストラクターとして参加し、1年生146名を体験指導。
 - ・ 定例プログラム「ミズナラ林の若返伐採と搬出路・遊歩道作設」実施、中心は、フットパス作り、会員10名、一般4名、合計14名(うち日帰り1)参加。車座講座はクロモジ精油づくり。
 - ・ 広報誌「茅風」54号発行

- 6月
 - ・ 定例プログラム「土呂部草原の生態系保全作業」実施。流域連携として会員 6 名が日光 土呂部を訪問、日光茅ポッチの会と協働。
 - ・ イオン環境活動発表会(於高崎)にて青水の活動を発表。ユネスコエコパークフェアの一環として、イオン財団の昨年度の助成先3団体がその具体的な活動を紹介するもの。茅刈・茅出し、野焼、地域通貨に的を絞ってプレゼン、好評。
- 7月
 - ・ 定例プログラム「防火帯刈払い・上ノ原賑わい観察」実施。参加 13 名(会員 12、会友 1)。記録的猛暑の中、慎重に進めたが予定完遂。
- 8月
 - ・ 会員親睦プログラム「山の日」玉原 高原散策・トレッキング」を企画、7 名の参加を予定したが宿泊施設の急な都合により中止。
- 9月
 - ・ 定例プログラム「ミズナラ林遊歩道整備と諏訪神社大祭」実施。会員 9 名、一般 3 名参加。諏訪神社例大祭に塾からも寄附。
 - ・ 会員限定で「赤谷プロジェクト」を訪問。12名参加。ふれあい推進センター森内所長の案内で、普段は入れない林道の奥まで視察。宿泊施設として再利用されている旧猿ヶ京小学校やたくみの里なども見学。
 - ・ 広報誌「茅風」55号発行。
- 10月
 - ・ 上ノ原の生態系観察のため北山塾頭立ち合いのもと日本自然保護協会によりフィールド内に 温湿度ロガーを設置する。併せて、田んぼの周辺で簡単な植生調査を実施。また、後日、茅刈時に地温計を設置。
 - ・ 定例活動「茅刈り」に24名参加(うち地元 日帰り4名)。88ポッチ刈り取り、直売所ではポッチ券83枚(16600 円相当)が利用される。
 - ・ 定例活動後にも「茅刈り合宿」5名が古民家に泊まり込み茅刈り継続。84ポッチの成
 - ・ 茅刈時の車座講座にて、藤岡和子会員がネパールエコツアーの報告。続いて日本自然保護協会の朱宮氏が、上ノ原に設置したセンサーの映像を紹介。クマ、イノシシ、キツネ、シカなどが確認された。
 - ・ みなかみ町エコパーク推進課高田課長より、文部科学省の「ふるさと文化財の村」の候補として上ノ原を申請するとの報告あり。1月28日に正式申請(1月の項参照)
 - ・ 茅刈りにあわせて種苗業者が来訪し、ススキのタネを崖などの法面補強・緑化に使えないか検討。
 - ・ 麗澤フィールドワーク(FW)実施。4クラス(グループ)8班ごとに体験活動。主なメニューは ①茅刈②森林草原観察③草原であそぼう④茅帚づくり⑤雲越家住宅見学。インストラクター17名で対応。
- 11月
 - ・ 定例活動「茅出し」。9名参加 68 6ポッチ搬出する(内訳 ボランティア88 茅刈合宿84 地元茅刈衆514)。ほかに「たかね」仁三郎さん指導のもと、椎茸などのコマ打ち実
 - ・ 今年の茅刈り数が確定し、町田工業から 76,800 円入金。内訳は、合宿刈り分 50,400 円(参加者に還元)、ボランティア分 26,400 円(塾の地域通貨勘定に入り、来年の地域通貨の原資になる。)
 - ・ 飲水思源地域通貨ポッチ券が10月の茅刈で51枚、11月の茅出しで37枚(各200円相当)配られ、直売所ではついで買いの現金売上もあり、総額3万円以上の地元物産を購入。

2019年

- 1月
 - ・ 広報誌「茅風」56号発行。
 - ・ 流域連携活動として、小貝川(1月20日)、菅生沼(21日)で行われた野焼きに流域連携としてそれぞれ9名、10名参加。
- 3月
 - ・ 定例プログラム「地域イベントキャンドルナイト参加 ・雪原カンジキトレッキング」実施12名(うち児童2)参加。
 - ・ 文化庁にて、上ノ原が「ふるさと文化財の森」に認定される。歴史的建造物の資材となっている茅、檜、漆、イ草等の原材料を供給できる産地を認定し、文化財保存修理資材の安定的な供給を目指すもの。それに見合う支援などが期待される。
 - ・ 上ノ原ガイドブック「うえのはら お散歩手帳」を作成

このほかホームページ、ブログを随時更新

2018年度の総括

基本的な活動が着実に行われる一方で、フィールドにとらわれない動きも試行され、楽しみながら良い汗をかく、ボランティアらしい動きが来ています。参加者層の固定化、高齢化は避けられませんが、県内の参加者がみられるなど、新しい動きもでてきました。

○ 前年度総会で「課題」、「2018年度重点取り組み」への対応と結果

- ・ (課題) 地元主導へのロードマップ作り 「ユネスコエコパーク活動に呼応して、都市住民、地元住民、行政と協力体制を再構築、現地リーダーたちをバックアップし、将来現地主導体制へ橋渡しをはかっていきます。現地主導体制へ橋渡しに備え育てきた現地リーダーを後押しをしていきます。」
→ 「地元」を担うべき人材が北山塾頭という特定個人に限られているなか、有効なスキーム、サポート体制を組むことができず、事実上、掛け声倒れに終わっていました。
- ・ (課題) 参加者層の拡大 「藤原にこだわらない下流圏会員向け、親睦会的な楽しい活動を目指します。」
→ 「楽しい施策」が功を奏し首都圏からの参加者数は高位安定しています。あえて言えば特定メンバーに集中、かつ年齢層も年なりに上昇しています。一方、県内でのプレゼン、町内での広報掲載や、北山塾頭からの呼びかけなどの効果もあり、少しずつながらも、町内、県内、近隣県など首都圏以外からの参加者も見られるようになってきました
- ・ (課題) 刈茅数の確保 「刈茅数増産対策。半減した茅刈衆の穴を埋める施策を打っていきます。」
→ 有志の古民家合宿・特別出役が寄与し、ボランティアの刈茅数は過去最高となりました。ただ、主力である現地勢の戦力低下は顕著で、茅の納入先、町田工業さまのご協力により茅買い取り価格の値上げをしましたが、地元茅刈衆動員への十分なインセンティブにはならず、持続性のある対策は打っておりません。
- ・ (課題) エコパークへの寄与：上ノ原ガイドの作成
→ 北山塾頭が兼務しているNPO法人奥利根水源地域ネットワークを中心に搬出路兼遊歩道が延伸、整備され、首都圏勢もこれに一部協力するなど、エコパーク協力活動は良いスタートを切りました。また、上ノ原での楽しい時間の過ごし方を紹介する上ノ原ガイド「うえのはら お散歩手帳」が完成、今期の早い時期の有効な配布、活用をすすめます。

○ 課題

- ① 地元主導体制へのロードマップ作り(継続課題)
→ 具体的な検討の為の地域協議会を定期的にもつことにより、NPO奥利根水源ネットワークなど地元団体との調整や組織大幅変更も含めたプラン作りをすすめます。
- ② 参加者層の拡大(継続課題)
→ 若手からのSNSなどによる口コミの働きかけ、魅力あるWEBサイト作りによる新しい参加者層へのアプローチ。必ずしも藤原にとらわれな将来の下流圏部会の下地となるエコ旅行親睦会的な活動を試行します。
- ③ 刈茅数の確保(継続課題)
→ 刈茅サイトの選定、結束方法など効率アップの工夫。有志の古民家合宿・特別出役の続行。刈茅人材層の開拓とインセンティブの更なる強化。(茅代金の値上げは有効)
- ④ フィールドの価値を高めること(エコパーク、ふるさと文化財の森などの動きに呼応)
→ 実質面：遊歩道やフィールドの整備継続、ふるさと文化財の森の支援で基盤整備を検討
広報面：上ノ原ガイドを活用した情報発信 調査結果の活用(研究者、自然愛好者) 行政への働きかけによる「町民の森」意識の醸成 その他宣伝活動

(参考データ)

一般参加歓迎プログラム参加人数(地元協力者は含まず)

	①野焼き・山之口開き	②新緑・ミズナラ林整備	③日光茅ポッチの会訪	④防火帯整備	⑤ミズナラ林整備	⑥赤谷、諏訪神社	⑦茅刈	⑧茅ホッチ搬出	⑨雪原散策と茅スグリ	合計
参加者	43	14	6	13	9	12	24	9	12	142
前年	58	12	12	11	18	17	27	18	15	188
前々年	26	13	12	11	15	7	22	13	13	132

茅刈実績(単位:束)

実施年度	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
刈り取った茅	3430	2300	4490	5550	3555	3010	2565	4890
うちボランティア (うち合宿)	860 (420)	480 (50)	625	490	400	260	275	600
うち地元	2570	1820	3865	5060	3135	2750	2290	4290
*環境保全作業協力金	92,520	99,500	40,000	126,500	100,960	137,500	114,500	214,500

* 茅の買い取り価格(町田工業)に当塾が上乘せするもの。

第1号議案 2018年度事業報告 および 会計収支

第2号議案 2019年度会計収支予算案

*4/12 イオン助成金返金発生につき修正

項目	2018年度	うち助成金	うち自己負	2018年度	うち助成金	うち自己負	2019年度	うち助成金	うち自己負
	計画	充当	担	実績	充当	担	計画	充当	担
前年度繰越金	1,024,645			1,024,645			1,378,949		
収入									
会費・入会金	383,000			358,000			363,000		
正会員会費	300,000			285,000			290,000		
家族会員会費	7,000			7,000			7,000		
賛助会員会費	70,000			60,000			60,000		
新規会員入会金	6,000			6,000			6,000		
事業収入	1,026,000			788,975			941,000		
一般参加歓迎プログラム	555,000			378,575			455,000		
環境教育受託料	416,000			384,000			426,000		
(麗澤FW委託費)	296,000			284,000			306,000		
(麗澤観察会委託費)	120,000			100,000			120,000		
茅・物品等売上	45,000			26,400			60,000		
講演料・原稿料	10,000								
助成金	830,000			887,373			1,130,000		
ぐんまグリーン大作戦									
みなかみ町昆虫等保護	30,000			30,000			30,000		
財団等民間	800,000			788,167			1,100,000		
寄付金				69,206					
その他収入									
受取利息	0			11			0		
その他				11					
(単年度収入)	2,239,000			2,034,359			2,434,000		
合計	3,263,645			3,059,004			3,812,949		
支出									
事業経費	1,139,600	455,000	684,600	1,041,881	530,793	511,088	1,379,000	674,000	705,000
一般参加歓迎プログラム	736,000	445,000	291,000	696,407	530,793	165,614	961,000	646,000	315,000
(設備備品費)	65,000	45,000	20,000	149,962	149,962		119,000	116,000	3,000
(資材消耗品費他)	15,000	15,000		27,322	24,142	3,180	15,000	10,000	5,000
(レンタカー費用)	326,000	295,000	31,000	247,222	247,222		469,000	400,000	69,000
(スタッフ高速・ガソリン)	40,000	30,000	10,000	48,459	37,217	11,242	68,000	50,000	18,000
(自家用車提供謝礼)	10,000		10,000	0			10,000		10,000
(現地協力者謝金)	30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	20,000	10,000
(懇親会費用)	200,000		200,000	151,192		151,192	200,000		200,000
(ボランティア保険)	50,000	30,000	20,000	42,250	42,250		50,000	50,000	
環境教育受託事業	393,600	0	393,600	345,474	0	345,474	379,000	0	379,000
(資材消耗品費他)	13,000		13,000	31,042		31,042	25,000		25,000
(レンタカー費用)	22,000		22,000	0		0	25,000		25,000
(スタッフ高速・ガソリン費)	20,000		20,000	30,432		30,432	20,000		20,000
(交通機関交通費)	10,000		10,000	0		0	10,000		10,000
(宿泊費)	47,600		47,600	54,000		54,000	48,000		48,000
(現地協力者謝金)	105,000		105,000	20,000		20,000	75,000		75,000
(スタッフ手当)	156,000		156,000	205,000		205,000	156,000		156,000
(コーディネート料)	20,000		20,000	5,000		5,000	20,000		20,000
楽習会	10,000	10,000	0	0	0	0	39,000	28,000	11,000
(講師謝礼)	10,000	10,000		0		0	39,000	28,000	11,000
(楽習会諸経費)	0			0		0	0		
活動支援・調査費用	699,000	345,000	354,000	386,644	257,374	129,270	826,000	426,000	400,000
設備備品費	0			0			80,000	80,000	
資材消耗品費他	13,000	13,000		12,584	12,584		20,000	10,000	10,000
レンタカー費用	28,000	18,000	10,000	0			42,000	30,000	12,000
スタッフ高速・ガソリン費	34,000	24,000	10,000	34,636	34,636		71,000	20,000	51,000
交通機関交通費	30,000	20,000	10,000	11,800	8,490	3,310	147,000	24,000	123,000
宿泊費など	65,000	20,000	45,000	31,500	31,500		73,000	45,000	28,000
図書費	5,000		5,000	0			5,000		5,000
資料作成費	130,000	90,000	40,000	77,644	77,644		0		
資料チラシ等郵送料	9,000		9,000	0			3,000	3,000	
地元会費・区費・寄附	60,000		60,000	70,000		70,000	60,000		60,000
保険料	35,000		35,000	34,930		34,930	35,000	34,000	1,000
工事費・除雪費	150,000	100,000	50,000	0			150,000	100,000	50,000
環境保全作業協力金	90,000	60,000	30,000	92,520	92,520		90,000	80,000	10,000
環境保全協力地域通貨	50,000		50,000	21,030		21,030	50,000		50,000
事務所経費その他	196,000	0	196,000	105,730	0	105,730	148,000	0	148,000
設備備品費	50,000		50,000	17,330		17,330	50,000		50,000
文具消耗品費他	3,000		3,000	3,441		3,441	10,000		10,000
印刷費	35,000		35,000	4,987		4,987	5,000		5,000
郵便料・通信費	60,000		60,000	29,354		29,354	30,000		30,000
レンタルサーバー費	18,000		18,000	25,272		25,272	18,000		18,000
会議室レンタル費	10,000		10,000	0		0	10,000		10,000
その他会議費	5,000		5,000	10,000		10,000	10,000		10,000
振込・払込手数料	15,000		15,000	15,346		15,346	15,000		15,000
賃借料	0						0		
記念事業費	0			145,800		145,800			
(単年度支出)	2,034,600	800,000	1,234,600	1,680,055	788,167	891,888	2,353,000	1,100,000	1,253,000
次年度繰越(残高)	1,229,045			1,378,949			1,459,949		
合計	3,263,645			3,059,004			3,812,949		

※ 2019年3月末会員数(カッコ内前年)：正会員58(60) 家族会員7(7) 協賛会員6社(7)
2018年新入会員(敬称略)：藤岡 貴司 藤岡和子(家族)

第2号議案 2019年度事業計画案

1. 2019年度事業計画

- ・都市、地元、利根川流域の住民が**飲水思源の志**でつながり、楽しみながら汗を流す。
- ・**人と自然のほどよい関係で**、生き物たちでにぎわう上ノ原の「入会の森(茅場・ミズナラ林)」を管理・利用する仕組みを築く。

■基本方針

「地元のチカラに都市住民のチカラを加えて、自然の恵みを持続的に利用する仕組み」の構築、維持に取り組んで参ります
上ノ原「入会の森」の茅草原、ミズナラ林とのほどほどの関係で保全と活用を図り、地元のチカラとして次世代につなげます

■2019年度の重点取り組み

- ・ユネスコエコパーク、ふるさと文化財の森指定に沿って、都市住民、地元住民、行政との協力体制を再構築、現地リーダーたちをバックアップし、現地主導体制への橋渡しをはかっていきます。
 <林内遊歩道の整備などエコツアー資源の開発、上ノ原ガイドの完成・有効利用、地域通貨の継続など>
- ・茅刈数増産対策。半減した茅刈衆の穴を埋める施策を継続していきます。
 <古民家での茅刈合宿プラン、町田工業との連携など>
- ・下流圏部会の活動を試行、藤原に軸足を残しながらも下流圏会員向けの、親睦会的な楽しい活動を目指します。
 <流域団体、茅葺き現場の訪問など>

2. 2019年度年間行事予定(案)

月	実施日	実施事項	実施内容
4	6	総会・セミナー	セミナー「上ノ原での里山保全活動の過去・現在・今後」
	前泊27 28/29	①野焼き 山之口開き(予備日なし)	1日目 山之口開き、防火帯等整備 2日目 野焼き 自然環境モニタリング調査(春季)
5	18	麗澤中学校樹木観察会(下見5月11日)	麗澤学園キャンパス
6	1/2	②ミズナラ林伐採・歩道整備 ススキ育成補助作業	ミズナラ林の若返り伐採と歩道整備 茅の生育不良個所に、現地採取腐葉土の散布を試行
	15/16	学習会・流域連携① 久喜市、松伏町訪問	「林学博士、公園の父」本多清六博士ゆかりの地を訪問
7	13/14	③防火帯整備・自然環境モニタリング調査	防火帯刈払い・自然環境モニタリング調査(夏季)
8	未定	地域協議会	現地幹事会開催
9	7/8	④ミズナラ林伐採、歩道整備	地域行事参加(諏訪神社大祭)
	28/29	学習会・流域連携② 日光茅ポッチの会訪問	流域連携活動として、草刈りなど支援
10	19/20	⑤茅刈り	お散歩マルシェ参加/飲水思源通貨発行
	17/18 21/22	茅刈り合宿(古民家合宿プラン)	自然環境モニタリング調査(秋季)
	30	麗澤中奥利根水源の森林フィールドワーク	茅刈り、草原・森林散策、草原で遊ぼう、茅葺づくり他
	21~31	地元茅刈衆による茅刈り	
11	16/17	⑥茅出し、山之口終い	
12		学習会・流域連携③ 茅葺き現場見学	
1	25/26	流域連携④ 菅生沼・小貝川野焼き参加	
	未定	地域協議会	地元幹事会開催 自然観察モニタリング調査(冬季)
2			
3	7/8	⑦キャンドルナイト・雪原トレッキング	茅スグリ、冬の自然観察、地域おこしイベント開催支援
定例活動時		車座講座の実施 外来種駆除	
随時活動		幹事会 毎月第3火曜日(案件ないときは適宜割愛)、現地での打合せも適宜実施 学習会	
摘要		・茅束増産対策(町田工業と連携)	

①②・・・は定例活動一般参加歓迎プログラム

は地元主導企画のもの

①②・・・は学習会(下流圏活動)

第3号議案 2019年度役員選任

1. 役員候補 (あいうえお順)

稲 貴夫	岡田伊佐子	尾島キヨ子	北山郁人	草野 洋
西村大志	増井太樹	松澤英喜	吉野一幸	

2. 退任役員

林部良治

3. 2019年度執行体制(案)

塾長	草野 洋	全般統轄 事務局長兼務(企画・予算統括、総会、幹事会) 現地移行準備協議 下流圏プログラム統轄
塾頭	北山郁人	全般統轄補佐・プログラム企画 みなかみ事務所長(地元・みなかみ町役場ならびに支援企業との連携窓口) 現地移行準備協議 地元活動活性化(麗澤FW など) 古民家・倉庫・機器管理
幹事	稲 貴夫 岡田伊佐子 尾島キヨ子 西村大志 増井太樹 松澤英喜 吉野一幸 稲貴夫(兼務)	広報(「茅風」編集長)、東京楽習会、総会/セミナー 麗澤中「樹木観察会/FW」自然ふれあい学習、東京楽習会、総会/セミナー 麗澤中「樹木観察会/FW」 下流圏プログラム補佐 茅刈り合宿 WEB管理(H/P・ブログメンテなど) 助成事業 広域連携補佐(草原再生ネット、草原サミット)、麗澤窓口、樹木観察 広域連携(草原再生ネットワーク) 事務局長補佐(予算管理、会員管理、総会、幹事会ほか) 会計・出納 定例活動関連事務、助成事業補佐 WEB管理補佐 現地移行準備協議 地元代表(地元の活動参画促進、NPO奥利根ネットワーク、地域貢献プログラムほか) 会計監査
備考		現地移行準備協議会は幹事全員で対応、事前調整は上記3者で対応

顧問

原 剛	安楽勝彦	笹岡達男	滑志田隆	清水英毅	高野史郎
-----	------	------	------	------	------

オブザーバー/相談役

小林 勲	行政/みなかみ町役場窓口(エコ・パーク推進課)
林 親男	地元関係相談役(藤原案内人クラブ)
川端英雄	アドバイザー